

2020 エフエムまつもと 高校生アナウンスコンクール

【朗読部門】 予選審査講評

都道府県	氏名	審査講評
北海道	清水 一桃	<p>存在感のある、とても格好いい声質をしていますね。発音・発声・滑舌など、力強く、幅広い作品に対応できると思います。</p> <p>ただ、所々地の文の読み方で力み過ぎのよう感じました。力が入り過ぎて、読点の前が走ってしまい、抜けてしまう音があります。</p> <p>既に声質に力がありますので、地の文はもっと力を抜いて、ある意味でサラッと説明程度に収めるのが良いです。</p> <p>セリフの部分も格好良かったですね。ただセリフの表現に地の文が引っ張られてしまうところがあり、劇調になっていくのが惜しかったです。セリフと地の文を切り分けましょう。</p> <p>息遣いを感じるように読めていて素敵ですが、全編通して息遣いがあると、それはそれで気になってしまいます。</p> <p>「きいろな底をもった～～」など、美しい表現は情景を思い浮かべて丁寧に読んでみましょう！</p>
東京都	大久保 佑南	<p>元気のいい朗読ですね。明るい声で聴きやすいです。先生のセリフが、先生らしくて上手です。全体通して明るい朗読で気持ちが良かったです。一方で、そのせいか作品全体が楽しい童話のようなイメージで仕上がっています。暗くする、ということではなく、作品に合わせたトーンで話せると良いですね。</p> <p>「」と地の文の境はもう少し明確にした方が良いでしょう。</p> <p>滑舌、特にタ行の練習が必要かと思います。また、“チチ”など、無声化をしっかりできるとさらに歯切れよく明瞭になりますよ。イントネーションが上下するので注意しましょう。</p>
石川県	田中 杏奈	<p>元気な発声ですね。声の前に出ていて、発音もきれいです。</p> <p>息を吸う音（プレス）がちょっと目立ちます。鼻から大きく静かに吸う練習をしてみてください。色味のある綺麗な場面を抽出しましたね。それを表現しようと抑揚をつけようとするチャレンジ精神をしっかりと感じました。その中で、文節で切り過ぎてしまうので、もう少し大きなかたまりで捉えましょう。ふわふわと上下するイントネーション、語尾が浮いてしまう部分が目立ち惜しいですね。</p> <p>自然に話すように朗読する練習をしてみましょう！</p>
長野県	阿部 朱里	<p>基本を守った誠実な読み方です。その姿勢を忘れずに活動していきましょう。</p> <p>滑舌の練習を頑張りましょう！特にラ行のトレーニングをしっかり取り組みましょう。本文内の文末や、呼びかけるときは、しっかり音を上げるようにしましょう。セリフの読み方のヒントは地の文の中にあります。読み込んでみてください。</p> <p>地の文の読み方、意味のまとまりで話せるとよいですね。</p> <p>途中で音が跳ねてしまい、不自然さが出てしまうところあり。</p> <p>物語全体の完成形をイメージしましょう！</p>
長野県	伊藤 陽光	<p>これから成長しそうな声質をしています。良いですよ。ハッキリ発声をして、声を前に出せるようにしましょう！</p> <p>地の文、落ち着いて丁寧に話せていて、作品の理解もちゃんとできており好感持てました。あとはセリフの表現を磨いてください。例えば最初の「おっかさんは、ぼくを～～」の部分、その後の地の文“少しどもりながら急き込みながら”という所にヒントがありますね、急ぎ、どもる。このあたりのリアリティを推測して、セリフに反映させるととても良くなりそうです。</p> <p>成長に期待します！</p>

長野県	永瀬 遥	<p>ハスキーボイスが魅力的ですね。聴きやすい声ですが、もう少し前へ声を出していきましょう！オーバーになり過ぎない読み方が好感をもてます。</p> <p>セリフの表現など作品によく合っていると思いますが、先生は女性でしょうか？ちょっと優しすぎる感じがしました。</p> <p>「上から下へ〜」、など抑揚を暗くしすぎるところがあります。地の文はよく聞こえるように、ある程度フラットな音に基準を設けると良いですよ。地の文は場面を説明するように話すとよいですよ。聴くほどに惹きつけられる声をしていますね。少し、息を吸う音や息遣いは抑えた方が良いと思います。研究してみましょう！</p>
長野県	遠藤 楓花	<p>いいテンポです。間の取り方もいいと思います。丁寧に読めているのですが、読点で忠実に切り過ぎているため、もう少し大きな意味で捉えてみましょう。読点で切ってしまうと、日本語の意味の途中で切ってしまうことになる場合が多いので、読み手は意味のまとまりを意識して話しましょう。目を見た文章と耳で聴く文章、どこで切ると伝わりやすいか比べるとおもしろいですよ！</p> <p>全般的に語尾が上がってしまうので、下げるようにしましょう。</p> <p>ラ行の滑舌など発音の練習を続けましょう。</p>
長野県	宮澤 汰佳	<p>明るく聴きやすい印象的な声質をしていますね。地の文とセリフの読み分けができていて、明瞭でよいです。男性が女性のセリフを表現するのは難しいのですが、見事に読み分けていて感心しました。一方、母と子の会話の後、十分な間をとりましょう。</p> <p>地の文の読み方を、意味のまとまりで区切りましょう。所々意味の中で区切ってしまったり、ポーズしてしまったりするのが惜しいです。効果的に間を使うともっと良くなりますよ。</p> <p>白い「キレ」のアクセントは平板ですので注意。「来てない」→「来ていない」音抜けあり。アクセントや抜ける音が無いように、完成度を上げるともっと良くなりますね！</p>
長野県	古畑 くるみ	<p>声を下げ過ぎかな、と感じましたが、一番出しやすい高さでしょうか？</p> <p>滑舌よく読めているので、テンポよく話が進んで聴きやすかったです。一方で言葉が滑ってしまうところもありました。言葉の粒を丁寧に話すようにすると更によいです。</p> <p>場面をイメージするゆとりがほしいので、間を効果的に使えるといいですね。</p> <p>「銀河ステーション、銀河ステーション」の言い方が効果的で良かったです。</p> <p>一文が長いので、どこで止めるか、意味を考えながら見ていくと良いと思います。</p> <p>息を吸う音ももう少し抑えられるといいですね。</p>
長野県	細沢 凜太	<p>落ち着いた良い声をしています。息が長く、安定した読みでいいですね。滑舌も心配なく聴いていられます。息だけで読まないように今から気を付けていきましょう。</p> <p>淡々とした全体のテンポも、抽出したシーンによく合っています。1年生でここまで古典派の朗読を体現しているのはすごい。大したものですよ！</p> <p>もっとリスナーを意識できると、朗読の表現もより良く変わってくると思います。</p> <p>セリフ、もう少し工夫しましょう。語尾に変化を付けるなどすると良いですよ。</p> <p>「丈高い」アクセント注意。</p>
長野県	三村 彩花	<p>クリアな声で、滑舌もよく、声も前に出ていていいですね！セリフの表現とっても可愛らしいです。物語を抑揚をつけて読めることは強みです。これから朗読という表現を深めるとさらに語りが変わってくると思います。ジョバンニやカンパネラらの年齢、性格等の人物設定をしっかりしましょう。</p> <p>地の文が小さすぎて、セリフだけが目立ってしまいもったいないと感じました。</p> <p>抽出する箇所について、長いセリフから入っている部分を抽出していますが、初めて聴く人にとっては誰が話しているかわからないかもしれません。誰でも聴いてわかるという視点で選ぶとより良いですね。</p> <p>今後の成長が楽しみです。</p>

長野県	山本 智也	<p>良い声質をしていますね。声が前に出ているのも良い。若干息を吸う音が目立つので気にしましょう。鼻から静かに大きく吸うように練習するといいですよ。</p> <p>抽出箇所の中身と相まって、耳を引き付ける朗読です。自分の声に合わせている場所です。情景が浮かぶいい読みなのですが、長い一文を自分の間で切ってしまうところがあります。文を細切れにせず、意味の切れ目で切りましょう。</p> <p>語尾を言い放ってしまっているので、語尾まで意識を集中して話しましょう。声質が良いのであとはテクニックを磨きましょう。とても魅力的な語り手になると思います。</p>
長野県	山本 悠雅	<p>低く響かせたいいい声なので、息で読まずにしっかり声を前に出して欲しいです。もったいない！出だしのカンパネルラのセリフがとても上手かった！印象的でした。泣きの演技が上手です。「一生懸命こらえる」「びっくりして叫ぶ」など、努力の跡を感じます。一方で、ジョバンニと地の文の読み分けを明確にしたいですね。力が入り過ぎて“少年”が“青年”に聴こえるので、もう少し肩の力を抜いてみましょう。</p> <p>朗読を続けてほしい声質、センスを感じました。もっと朗読の語りを深めるためには、間の取り方を工夫しましょう。場面を「文字」ではなく「映像」でとらえると、見えてくる世界が変わります。今後も頑張ってください。</p>
長野県	小松 勇翔	<p>よく響く、とても魅力的な声。語尾の息遣いに特徴があり個性的。響かせ過ぎているためか、語尾が伸びてしまい息になっている点が残念です。息で消えないように注意しましょう。</p> <p>情緒的な表現がよくできています。また、文中の点ごとに切つてぶつ切りになっていますが、意味のまとまりで区切って話せるといいです。</p> <p>途中詰まってしまった部分（とちり）がありました。録音エントリーなので、せっかくですから録り直して応募するとよかったですね、もったいないので。</p> <p>ジョバンニとカンパネルラが青年？のように聴こえました。少年らしさを研究してみてください。後光→「ごこう」</p>
長野県	小池 克哉	<p>エントリーの県名、タイトルのアナウンスでハッとさせられました。作品の内容を話せており、とても大人びた朗読をしていますね。テンポ、間のとり方に無駄がなく、聴きやすい語りにもとめています。落ち着いた安定した読みで、安心して聞いていられます。</p> <p>アーティキュレーション良いですが、所々滑舌もう一息！という部分がありますね。「コランダム」「水に手をひたしました」惜しい！少し走りました。歯切れがさらに良くなることを期待します。一連の言葉のまとまりの中で、一部分だけ音が浮いてしまうところがあります。抑えられるとより美しくなりますね。</p> <p>少し波が出ることがあるので、気を付けて。最後まで気を抜かずに読みましょう。</p>
長野県	松村 まいか	<p>作品の中でも可愛らしい部分を抽出しました。ただ、ほとんど先生のセリフのシーンなので、表現が難しかったかもしれませんね。「」の中と地の文の表現の差を研究してみてください。</p> <p>先生のセリフが主役になっている部分ですので、もっと先生感を出してみてください。どんな調子やテンションで先生は話していたのでしょうか、先生はどんな感情だったのでしょうか。そのあたりも推測して朗読に取り組むと、話し方もより良く変わりそうです。</p> <p>忠実な読みができていますが、文字を追うだけでなく、目の前にいる人に説明するように読むといいですよ。朗読の基本は自然に話すようにすることです。</p>
長野県	松澤 楓	<p>良い声質をしています。響きがあって心地よく、聴き入ってしまいました。一方で、時折声が「息」になってしまうので惜しいです、語尾など。腹式で支えて、芯のある声を使いましょう！</p> <p>文章を読む際、短いまとまり、短いまとまり、と切ってしまう。文の中に意味のまとまりがありますので、意味を切らないように注意しましょう。また、文章を讀みの勢いでまとめようとすると、大切な言葉を立たなくなってしまうので、一文一文の内容を理解してみましょ。語尾が上がらないよう下げられるとなお良いですね。</p> <p>「そんな日の」といった部分、物語の展開を考えて話し始めると変化がついて面白くなります。</p>

長野県	森 有稀	<p>聴きやすく優しい読みですね。切り取ったシーンによく合っていると思いますが、文字をなぞるように読む調子があるので、声を前に出すようにハッキリと読んでみてください。「文字を読む」から「文字を話す」意識にするとよりよいです。</p> <p>“ささやく”よりも“小さい音”のイメージで、音はしっかり出した方がひとつひとつの言葉がしっかりと伝わります。</p> <p>「にわかに」アクセント注意。</p>
長野県	水谷 遥香	<p>通りの良い声をしていますね。基本がきちんとできている読みです。ゆっくりした丁寧なスピードで好感を持てますが、地の文のテンポが少し遅いようにも感じました。</p> <p>セリフはキレよく表現も良いと思います。</p> <p>単調な朗読にまともになってしまうので、声に出す際「その時どんな状況だったのか」など、実際の場面をイメージしてみると、テンポが変わってくると思います。</p> <p>ラスト、もう少し“終わる感じ”でテンポを落としていくと良いですよ。</p>
長野県	杉山 あやね	<p>キレよく読んでいますが、その読み方がとても速いですね。ゆっくり、一言一言をハッキリと読んで、丁寧にお話をするとうまいですね。テンポを上げるなど工夫するのは最後でいいです。同じように、間もしっかり取りましょう。</p> <p>速く読み過ぎているために滑舌が追いつかない部分があります。こちらもゆっくり丁寧にしましょう！</p> <p>「大熊星」「霧の降りかかった」など聴き取れない単語がありますので、滑舌は一音一音を大切に。一文を大きなかたまりで捉えると、作品の美しい情景が見えてくるとと思いますよ。研究してみてください。</p>
長野県	菅沼 るあん	<p>誠実な読みですが、まだまだ声が出ると思います。発声練習で腹式を会得していきましょう！発音は「ん」の音まで発音する意識をもつ。</p> <p>「そした“ら”」「そこ“に”」など、母音が残ってしまうのでキレよくしましょう。</p> <p>読点や息のまとまりでぶつぶつと切っているため、意味のまとまりで切るようにしましょう。</p> <p>文章を声に出す時に、普段の自分だったらどの程度まとめて話しているか、と考えるとよいですよ。</p> <p>セリフの表現がキラリと光りました。「いや」「ああ」などもう少し感情を込めてみましょう。</p>
長野県	竹村 幸佳	<p>クリアな読み。ハッキリした発声で好感を持てます。声量、滑舌とてもいいです。男女の役柄の表現が明確になっていて、とても器用ですね。セリフの演技表現がとてもよいです。高校生でここまで明確に読み分けられるのは才能を感じます。</p> <p>一方で、声演技（声色）としては申し分ありませんが、ジョバンニ、女の子、青年、それぞれの調子・スピード感が同じように感じたので、速度感や緩急、息遣い等での差を出してみてください。また、地の文のイントネーションをしっかり定めるとよりセリフが生きますよ！</p>
長野県	中澤 優奈	<p>難しい作品によくチャレンジしましたね。一文が長く難しいシーンですが、内容を理解してきちんと伝えようという努力が感じられました。</p> <p>テンポが少し速いので、間をしっかりととりましょう。サラサラと文章が流れて行ってしまうので、内容を映像化して、それを自分で見ているように、それを説明するように話すとうまいですよ。</p> <p>ポーズ（間）は、自分の読みやすい所で止まるのではなく、「文の意味で切る」ように、研究してみてください。</p> <p>セリフの表現をもう一工夫するとより良いですね。</p>

長野県	那須野 むつみ	<p>明るい声で聴きやすいです。かなり速いテンポですが、よく読んでいます。</p> <p>読み聞かせ風になってしまっているの、もう少し落ち着かせた方が朗読としては良いと思います。</p> <p>全体的に元気に弾むような読み方になりがち。抽出した箇所の「文字を表現する」意識は良いですが、物語全体の「一部を切り取る」という意識をもつと表現が変わってくると思います。その場面だけではなく、全体の一部分である、という事です。</p> <p>このシーンはこれから不思議な世界へ入っていく、何が起こるかわからない不安なシーンなので、読みが合っていないと感じました。自分の息や読み方の合わせて読むのではなく、作品の世界観に合わせて読めるようになるとGoodです。別のシーンにもチャレンジしてみてください！</p> <p>「ピロード」「真鍮」アクセントを注意しましょう。</p>
長野県	内藤 百音	<p>そよ風が吹くような爽やかな声質ですね！無駄な力が入っておらず聴きやすく、ストレスフリーの朗読で良いです。滑舌などは良いと思いますが、ささやくようになってしまっているの、もっと声を前に出すといいでしょう。</p> <p>読み方について、単調になりがちなので、間を使って緩急を工夫するともっと恰好良くなります。もう少し一文を長く捉えると良いと思います。</p> <p>一人称の原稿を読むときは主たる「私」に引き寄せて読む場合が多いですが、その手法が良くできています。一方で、物語のナビゲーションという役割の「地の文」ですから、あまりセリフ調の語りで続けてしまうのも良くありません。感情は一步後ろに引いて話すと、さらに良くなりますよ。</p> <p>とてもいいシーンを切り取っています。</p>
長野県	内野 あすみ	<p>可愛らしい声質、とても器用な表現をしていて、声優に向いていますね。発音滑舌もとてもきれいです。登場人物の設定も適確で、作品をしっかり捉えています。</p> <p>「僕」の表現に思い入れを感じました。</p> <p>地の文の落ち着いた声の調子が良いですね。若干語尾が浮き気味なので、語尾を下げると収まりがよくなりますよ。「～が」「～に」など、セリフの中でも語尾は伸ばさない方が良いです。</p> <p>「姉」のアクセントは平板ですので注意しましょう。その他、「間には」「コルク抜き」を確認しましょう。</p> <p>原稿の抽出箇所にもう一工夫欲しいですね。会話部分をメインにするよりも、地の文を中心に物事や気持ちの動いているような場面は聴いていて面白い場面です。朗読は地の文の読み方が勝負ですから、ぜひ挑戦してみてください。</p>
長野県	北澤 真衣	<p>聴きやすいストレスフリーな声質ですね。とても丁寧に読めていて、基本はOKです。</p> <p>あとは自信をもって声を前に出して欲しいです。</p> <p>～のように、～のように、といった並列の表現はとてもいいと思います。</p> <p>抑揚の山、うねりあり。全体的に言葉の意味のまとまりをしっかりと捉えるとより良くなりますよ。意味のまとまりを捉えたら、第一音にアクセントをしっかりとつけましょう。イントネーションのうねりが無くなります。</p> <p>若干、文字を頑張って読む感覚を感じます。中身をイメージして話すように朗読してみましよう！</p>
長野県	有賀 うてな	<p>しっかりした発声ができる存在感のある声ですね。若干、声が息になってしまうので注意しましょう。</p> <p>自分の声に合っている部分を抽出して、効果的でした。</p> <p>間の取り方など、作品を理解した読みができています。</p> <p>セリフと地の文の違いを表現するのが難しいシーンですが、地の文に感情を込めすぎないよう、もう少し引いて読んでみるといいですよ。</p> <p>前傾姿勢の朗読で迫力ありますが、引いてみることも大切。勢いで話しているような部分があるので、意味で話せるようになるとより良いですね。</p> <p>声をうまく生かせるよう、研究してみてください！</p> <p>寝台→「しんだい」</p>

三重県	伊藤 朱音	<p>マイク通りの良い声をしていますね。よく読みこんでいると感じました。その分、所々少し走ってしまい、読み慣れ過ぎたようになったところがあります。肩の力が抜けていて良いですが、言葉はひとつひとつ大切にしましょう！</p> <p>この声で読まれると風立ちぬの世界観がちょっと違って見えますね。</p> <p>セリフから入る場面なので、最初のセリフの話し方、重要です。</p> <p>物語の場면을イメージするとさらに良くなります。訴える読みができるよう、研究してみてください。</p>
兵庫県	中村 佑香	<p>明るく前に声が出ていていいと思います。落ち着いた朗読で聴きやすいですね。若干、せっかくの明るい声を少し暗くするように意識しすぎた感じがしました。</p> <p>「ーとこ」「シンシン」「にわか」にアクセント注意しましょう。</p> <p>セリフなどもきれいなのですが、少し棒読みっぽくなってしまい、もったいない！</p> <p>地の文が特に、“朗読ってこんなイメージ”といった、雰囲気朗読しているようにも感じました。作品の中身や意味で話すようにすると立体的な朗読になります。はじめに頭の中で映像化してから話し始めると良いですよ。</p>
愛媛県	石川 菜奈	<p>いわゆる「アニメ声」になりそうな所を、上手に堪えています。切り取ったシーンの状況をきちんと理解して表現しようとしちえるのが伝わりました。内容がちゃんと届いてきます。落ち着いて話しているのもよいです。</p> <p>ただ、「ああ、と“深く”息しました」など、地の文の中に表現のヒントや答えがある場合が多いので、じっくり一語ずつ追ってみてください。</p> <p>「サソリ」「新しい力」など、サ行を丁寧に。</p> <p>ラ行の発音、滑舌の練習を続けましょう。ラの音は舌先でしっかりと弾く音、意識してみてください。</p>
愛媛県	川本 理寿	<p>落ち着いた発声で、惹きつけられる魅力のある声質をしていますね。一音一音きちんと出ていていいと思います。切り取ったシーンに合った読み方ができています。セリフの緩急の付け方とても上手です。また息遣い、テンポ、間の取り方も良いです。</p> <p>一方で、もう一歩内容に沿った表現にできるとよいですね。例えばセリフはその場の雰囲気、人物の心理状態を表すことができます。また地の文は、その場面の動きを伝えることができますが、若干単調にまとめている惜しかったです。</p> <p>小さい音もささやくのではなく、音量を落としてもハッキリ聴こえるようになるともっと表情が出ると思います。ラスト、“終わる感じ”で、少しずつテンポ落とすと良いですよ。</p>